

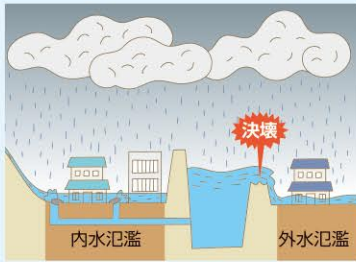
## 浸水害の種類

### 内水氾濫

雨の量が下水道や道路側溝などの排水施設の能力を超えたり、河川の水位が高くなったとき、雨水を排水できずに浸水することがあります。

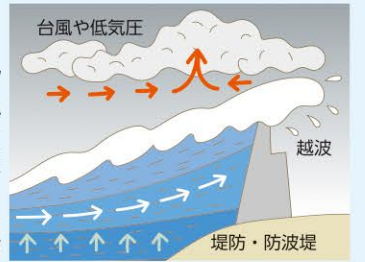
### 洪水（外水氾濫）

大雨によって河川の水位が高くなると堤防を越えて水があふれたり、堤防の土砂が流出して決壊することがあります。



### 高潮

高潮とは、台風や発達した低気圧に伴って、海岸で海面が異常に高くなる現象です。すでに高潮が発生し、浸水が生じていたら、より高い場所へ避難しましょう。



## 浸水害のおそれのある区域の確認

町では、大雨や高潮により、浸水のおそれがある範囲やその深さを示したハザードマップを作成しています。自宅及びその周辺が浸水のおそれがある区域か確認しましょう。

### 洪水ハザードマップ

洪水ハザードマップは神奈川県が公表した洪水浸水想定区域図を基に作成しています。森戸川、下山川が氾濫した場合に、浸水が想定される区域と、浸水深の最大値が掲載されています（水防法に基づく）。



マップはこちら  
防災関連マップ  
>洪水ハザードマップ

### 高潮ハザードマップ

高潮ハザードマップは令和3年8月に神奈川県が公表した相模灘沿岸の高潮浸水想定区域図を基に作成しています。町内において浸水が想定される区域、浸水の深さなどが掲載されています（水防法に基づく）。

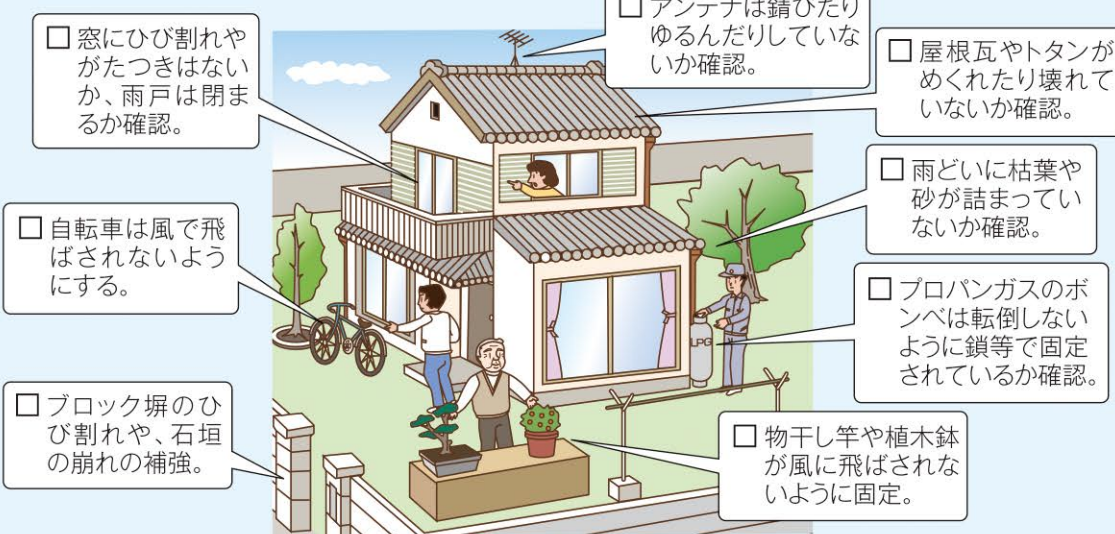


マップはこちら  
防災関連マップ  
>高潮ハザードマップ

## 台風に備え事前にチェック

台風は事前に備えができる災害です。接近してからではなく、普段から対策に取り組みましょう。テレビのニュースなどで台風の進路を確認しましょう。

風水害に備えて



### 屋内での対策

- 窓ガラスは、外から板でふさいだり、内側から養生テープを×印に貼りましょう。
- 家財道具や貴重品を高い場所へ移動しましょう。



## 自宅の周辺を確認 こんな土地は要注意

### 海岸

高潮の要注意地帯。満潮と台風が重なると高潮が猛威をふるうおそれがあります。



### 河川敷

河川の流域や、むかし河川敷だった場所は、豪雨によって浸水する危険性があります。



### 造成地

丘陵を切り崩してつくられた土地のほか、谷や斜面に土を盛った造成地は、地質や地形が不安定です。豪雨で地盤がゆるむと、壊れる危険があります。



### 急傾斜地

傾斜30度以上、高さ5m以上の急傾斜地は、雨でがけ崩れを起こす可能性があります。樹木の少ない山間部は土石流の注意も必要です。



## 緊急安全確保

すでに避難経路が大規模に浸水しているなど、適切なタイミングで立退き避難ができなかった場合には、近隣の高い建物や自宅の2階以上の高い場所に一時的に移動する「緊急安全確保」という避難行動をする必要があります。

